

特別展

住吉派の興隆と阿波徳島の画人たち

幕府御用絵師を代々つとめ、江戸におけるやまと絵を牽引してきた住吉派歴史、およびその画系に連なる板谷家、粟田口家などの画業を紹介する展覧会です。

あわせて江戸時代後期、阿波徳島の出身で、江戸に出て住吉派を学び、継承してきた渡辺広輝や守住貫魚等、徳島藩御用絵師をとりあげながら、住吉派門人の拡がりについても見ていきます。

徳島ゆかりの住吉派画人たちの作品に見る影響関係などについても検討を加えながら、江戸時代後期に隆盛を誇った住吉派と、その後の近代に向けての展開について探っていきます。



賢聖障子絵 3幅対 住吉広行筆・松平定信賛



称徳天皇像 住吉広保筆 西大寺蔵



四季耕作図 2幅対 住吉弘貫筆【11/2～11/21展示】



源氏物語画帖 板谷広長筆
高知県立高知城歴史博物館蔵



源氏物語 若紫図 板谷広長筆



吉備真備図 渡辺広輝筆
古美術九源次蔵【10/16～10/31展示】



勿来関図(部分) 板谷広隆筆
【11/2～11/21展示】



清少納言・小督局図 2幅対 住吉広賢筆 愛媛県美術館 寄託
右幅【10/16～10/31展示】、左幅【11/2～11/21展示】

